



- P2 令和3年度決算を認定
- P3 議会概要、賛否一覧
- P4~11 一般質問で町政を問う
- P12 視察レポート、最近の議会活動
- P13 佐賀県町村議会議員研修会、西九州新幹線開業
- P14~15 特集 追跡！公共施設バリアフリーの「今」
- P16 要望書、編集後記

令和4年 **9** 月議会
第**70**号

議会だより

■ 標題は有明南小学校6年 中山 琉真さんの作品です
なかやまりめつま



■ 標題は六角小学校2年 山下 純市さんの作品です。テーマは「ジュラシックワールドたまご」
やましたじゅんいち

令和3年度一般・特別会計決算4件を認定

審査意見 (要旨)

白石町監査委員 稲富 健朗

溝口 誠

令和3年度の決算審査は、7月19日から8月3日まで実施し、決算書・関係諸帳簿・証拠書類を審査しました。その結果、決算計数は正確に処理されていることを確認いたしました。

審査の結果については、意見書に記載しているので、ここでは決算審査を実施しての講評を述べることとします。

①不納欠損処分と滞納処分について
令和3年度の町税(個人・法人町民税、固定資産税、軽自動車税)の不納欠損額は49件、前年比333万699円減少しています。また、国民健康保険税の不納欠損金については、昨年より42万3,699円増加しています。

これは、地方税制に基づき適正な理由で不納欠損処分されたものではないが、金額の多少にかかわらず納税者の不公平感を招きかねず、さらに納税意欲を低下させることにもつながりかねません。今後も地方税法に基づき、適正に執行していただくよう留意していただきたい。

②事務処理状況について

例月出納検査や定期監査でも都度指摘をしているので、決算審査では重大な誤りはありませんでした。

また、予算流用についても、財務規則に基づき、適切に処理されており、その理由についても妥当でありました。

ただし、次の点について改善することを検討していただきたい。

・令和2年度決算と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が実施できなかったにもかかわらず予算の減額補正がおこなわれず、過大な不用額があった事業の費目も多く見受けられました。

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業の「しろういし応援団」生活サポート事業や農業収入保険加入促進事業、事業者支援金・応援金などは、地域経済の活性化にも大きく寄与したと考えられます。これからも町民の生活不安を解消することを第一に考えた事業に取り組むようお願いいたします。

・歌垣公園研修施設など、維持管理費用対効果が表れていないような老朽化した施設については、早急に廃止の措置を講ずるよう検討していただきたいと思っております。

結びに、自主財源に乏しい本町は、交付税に大きく依存していますが、昨年度より地方交付税総額が4億7,988万円の増収となりました。これは、国の補正予算による地方負担の増加に伴う一時的な措置であり、結果として一時的に経常収支比率が改善しました。また、近年の借入金増加に伴う公債費の償還の増加が見込まれるとともに、公共施設の老朽化に伴う修繕費等の増加も見込まれ、これからも厳しい財政運営となっていくものと認識しています。

白石町行政経営プランに記載されているとおり、着実に歳入増加策の検討(ふるさと納税事業の安定化など)をおこない、本町の特性に合わせた投資の在り方、事務事業の見直しの具現化を早急におこなうよう要望します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響と令和3年度の豪雨災害により、多くの町民の方が疲弊しており、まずもって町民の生活不安の解消につながるよう経済対策を優先的に取り組んでいただきたいと思っております。

時代に対応した住民サービスのデジタル化については、周辺市町に遅れることなく取り組んでいただきたいと思っております。

なお、合併時に設定された職員数255名という目標は達成されたものの、以前に比べ業務内容が多種多様化

しており、職員の負担も大きくなっていくものと思われれますので、時代に合わせた組織改編と定員管理の見直しも必要であると考えます。

最後に、アフターコロナを見据えた観光施策にも鋭意取り組んでいただき、本町の将来を見据えた事業や定住対策については、投資を惜しむことなく取り組んでいただきたい。「人と大地がうるおい輝く豊穡のまち」を目指して、持続可能なまちづくりを展開されるよう切望します。



●町長へ決算審査意見書の提出

9月定例議会概要

9月定例議会は、9月7日から15日までの9日間で行いました。
町長から、令和3年度各会計決算や補正予算、条例改正など追加議案を含む12件の議案が提出され、各議案は本会議での審査を経て、認定・可決しました。

一般質問は8人が行い、まちづくり、財政運営、施設の統廃合、排水対策、教育問題、学校給食などについて、執行部の考えを質しました。



令和4年9月議会定例会には、13人の傍聴者にお越しいただきました。感染対策のため、傍聴席の数を制限しております。皆さまのご理解をお願い申し上げます。

賛否一覽

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

議案番号	議案	結果	吉岡 正博	岸川 信義	友田香将雄	重富 邦夫	中村 秀子	定松 弘介	前田弘次郎	溝口 誠	大串 武次	吉岡 英允	草場 祥則	井崎 好信	内野さよ子	西山 清則	溝上 良夫	
7月臨時会	28	公立学校施設整備費国庫負担事業町立中学校校舎増築工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	令和4年度一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会	30	令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	31	令和3年度国民健康保険特別会計歳入歳出の認定	認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	32	令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	33	令和3年度下水道事業会計決算の認定	認定	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	34	職員の育児休業等に関する条例の一部改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	35	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	36	税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	37	財産の無償譲渡	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	38	令和4年度一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
	39	令和4年度国民健康保険特別会計予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
40	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○		
41	学校施設環境改善交付金事業 新学校給食センター建築工事請負契約	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○		

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。



●町長の提案理由説明



草場 祥則 議員

問 公共施設の将来の在り方は

答 公共施設等再編計画を策定し示したい

議員 町が管理する

公共施設は老朽化が進んでいる状況にある。類似の施設も合併後そのまま維持されているが、その管理の在り方や維持管理費の状況は。

企画財政課長 すべ

ての公共施設をこれまでの規模で運営していくことは到底できない。町では、比較的大きな公共施設を対象として、将来的な管理方針を示す

ため、公共施設等再編計画の策定を進めている。

議員 毎年度の収支

を鑑み、維持管理費に見合った施設使用料の見直しなど、どのような検証をおこなっているのか。

企画財政課長 現状

の使用料収入では経費に見合っていないと認識している。物価上昇の影響などにより維持管理経費も上がっている。施設の維持のために使用料の見直しを検討させていただきたい。

議員 公共施設の機

能や配置の在り方について検討を急ぐ時期である。公共施設の将来の在り方は。

企画財政課長 公共

施設等再編計画を今年度中に策定するようになっている。類似施設などの再編をどのようにしていくか全体的な考え方を整理して個々の施設の管理方針を示したい。



● 白石町総合センター

問 給食センターに一元化するメリットは

答 新学校給食センターでは、高い水準の衛生管理や細やかなアレルギー対応が可能

議員 学校給食セン

ターが新築されることにより、安心安全な給食が提供できることと思われる。給食センターに一元化するメリットは。

学校教育課長 新設

する学校給食センターでは、高い水準の衛生管理や細やかなアレルギー対応が可能となる。学校給食衛生管理基準に適合した施設となる。

議員 学校給食納入

組合との関わりは重要である。給食センター一元化後に向けて組合との調整をどのようにしていくのか。

学校教育課長 令和

6年度に稼働する新学校給食センターでは、全小中学校に配膳を行う施設となり、食材の納入が一本化する。今後、納入業者へ説明を行い、学校給食センターへスムーズに移行ができるよう対応していきたい。



前田 弘次郎 議員



問 白石町が目指すデジタル化の将来像は

答 町民の利便性の向上などを図ることを基本理念とした「白石町DX推進方針」を策定

議員 行政サービスのデジタル化に向けた組織体制と、町が目指すデジタル化の将来像をどのように考えているのか。

総務課長 「DX推進統括監」である副町長をトップとして、各課長等で構成する「白石町DX推進本部」を設置し、役場内を横断的に繋ぐ推進体制を作っていく。

ことで住民サービスの向上を図りたい。

議員 管理職員の意識改革とデジタル化の研修は計画されているのか。

総務課長 「職員向け自治体DX体感セミナー」を定期的に開催し、他の自治体で行われている「デジタル化による業務効率化」の事例を本町の職員が体感できるように研修会を開催している。

議員 デジタルを活用した観光振興策は。

商工観光課長 今後「来訪意欲」を増進させるため、デジタル技術等を活用し、観光資源との融合による観光需要や消費意欲を創出する施策を検討していきたい。

問 観光協会を立ち上げて観光振興に取り込む考えは

答 専門的に観光施策を実施する民間組織として、観光協会の設立を検討することも必要と考えている

議員 観光の振興には、民間の発想を取り入れることが重要である。観光協会を立ち上げて観光振興に取り込む考えは。

商工観光課長 本町観光を広域的に考えれば、今後「観光デジタル化」も含め専門的に観光施策を実施する民間組織として、観光協会設立の検討も必要と考えている。

町長 今後、周辺地域と連携し、観光施策を計画するのであれば、本町にも観光協会の設立は必要と考えている。

議員 商品券事業については、キャッシュレス時代に合わせた地域振興策の検討を進めるべきでは。

総合戦略課長 対象者を絞った給付事業やプレミアム商品券などのように、町からキャッシュレス付与できるような事業に関しては、条件を整えば導入を図りながら、事業者と消費者の両面へのキャッシュレス化の普及に取り組んでいきたい。



●西九州新幹線開業イベント



中村 秀子 議員

問 新白石中学校の開設に向けての進捗状況は

答 新しい学校づくり準備員会で項目ごとに進めている

議員 新白石中学校の開校を控え、様々な事が課題となつているがその進捗状況は。

学校教育課長
①制服は候補の3点から、校章は公募を行い129作品の中

から5点を美術教諭に選んでもらうとともに、生徒アンケートをもとに学校づくり準備員会で決定した。校歌は作詞・作曲を誰に依頼するか検討している。

②開校までの生徒の交流は、生徒の不安や戸惑いを軽減するために進めている。また修学旅行については3校で検討を行っている。部活動ではそれぞれ合同練習会を実施しており、吹奏楽部は白石中・有明中の合同チームとしてAパートで参加し見事金賞を受賞した。

③県内で7番目の大きな学校となり、職員の定数は、現在の71人から50人となる。校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭の管理職配置。加配教諭の適切な配置とバランスの良い3校からの配置とする。

●新白石中学校校章



④10学級の特別支援学級となる。個々の違いを認め共生社会実現に向けて専門的知識や指導を身に着けた教職員を育成する。

⑤跡地の利用については、公共施設の再編計画と調整を図り検討を行う。また、小学校再編については、学校統合再編審議会の答申を受けたときより少子化が著しく進行しているため再度検討を行っている。

問 子ども達の学力の状況は

答 小・中全ての教科全国平均を少し下回っている

議員 学力の状況と科学的に探究する力を育む実習や実験は出来ているのか。また、スマートフォン

の所持率、SNSの視聴時間と学力との相関は。

主任指導主事

①学力は小・中ともに全国平均より少し下回っている。

②コロナ禍では当初十分な取り組みが出来なかったが現在ではコロナ以前の取り組みが出来ている。

③スマートフォンの所持は中学生で約50%、小学生で17%である。SNSの視聴は4時間以上が小中とも10%を超えてい

る。長時間の視聴に対する弊害等を啓発したい。

議員 長引くコロナ禍が子供たちへ与える影響の問題点とアフターコロナの教育の在り方をどう考えているのか。

教育長 マスクを外せない子や、歯等の健康に問題のある子がいる。子供に寄り添って、指導を行いたい。ウィズコロナの時代の中で児童生徒の主体的な取組、自己肯定感を高める取組を進めていきたい。



内野 さよ子 議員



議員 国では保育施設等における検討委員会がなされている。町内には保育園が5施設、教育と保育を一体的に行う認定こども園が4施設ある。全国的に痛ましい事件などがあるが、指導監督の状況は。

保健福祉課長 毎年、保育園、認定こども園も佐賀県子ども未来課と併せて保健福祉課で監査している。

議員 令和4年度中に子ども家庭総合支援拠点を設置し虐待予防の取り組み推進のため資格を有する家庭支援員を設置することとなっているが進捗状況は。

保健福祉課長 既に設置している「子育て世代包括支援センター」で総合的な相談を行い、特に支援が必要な子ども、家庭に対し「子ども家庭総合支援拠点」が児童相談所、学校、保育園、医療機関と連携し、切れ目のない支援を行えるよう準備している。

議員 児童相談所には強い権限がある、町役場にはないが「所掌と権限」についてどのように考えているか。

保健福祉課長 町民と一番身近な市町村は第一義的な相談窓口となります。虐待など悲しい結果にならないように、日頃から児童相談所とは密接な連携を図ることが大切と考える。

問 白石町史の編纂委員会を早急に

答 編纂には5年、人的、予算も必要、努力して行きたい

議員 白石町史、福富町誌、有明町史が発刊されて長い年月が経過している。編纂委員会を早急に立ち上げるべきではないのか。

生涯学習課長 白石町史、福富町誌、有明町史が編纂されて既に50年程が経過している。全面的な見直し編纂には5年はかかる。人的、予算的な措置が必要となるが、早い時期に編纂委員会を立ち上げられるよう努力して行きたい。

議員 教育の観点や歴史文化を知っていただくためにも歴史資料館の設置は必要では。

生涯学習課長 生涯学習課長・公共施設の利活用の中で検討して行きたい。

問 虐待防止として家庭総合支援拠点設置の進捗状況は

答 児童相談所、学校、保育園、医療機関と連携支援していく

議員 本町は、「子ども家庭庁」が令和5年4月1日設置される目的をどのように認識するのか。また、設置される効果と町が行う事務にどのように影響があるのか。

保健福祉課長 各省庁が別々に行ってきた施策が1本化される政策が効率的、機動的に実施されると思っている。町保健福祉課での事務への影響はあまりない。

町が別々に行ってきた施策が1本化される政策が効率的、機動的に実施されると思っている。町保健福祉課での事務への影響はあまりない。



●須古城跡現地調査



溝口 誠 議員

問 子どもの困窮等、食に対する支援をどのように推進していくのか

答 子ども食堂開設のため、社会福祉協議会と協力して取り組みたい

議員 子どもの困窮支援について、特に食に対する支援「子ども食堂やフードバンク設置など」どのように推進していくのか。

保健福祉課長 子

どもの貧困については把握が難しいために対象を幅広く設定する子ども食堂が有効な支援となると考える。

子ども食堂開設に向け社会福祉協議会と共に協力して、利用できる補助金や開設場所の提供、運営のアドバイス等を行いたい。



問 物価高騰における学校給食費を今後どのように計画しているのか

答 学校給食運営委員会に諮問し検討したい

議員 物価高騰における令和5年度学校給食費の値上げ計画は。

学校教育課長 令和4年度は、保護者へ食材費増額分の負担はない。今後の物価高騰の状況によっては値上げも考えられる。学校給食運営委員会に諮問し検討を行いたい。

議員 災害時に避難所にて支給される備蓄食品で、アレルギーを持つ方に対応した食品が提供できるようにされているのか。

総務課長 今年度もアレルギー特定原材料28品目を含まない非常食を購入するよう予定している。

問 第2次白石町行政経営プラン策定における職員数の適正化は

答 来年度に策定の第4次白石町定員適正化計画の中で定めたい

議員 第2次白石町行政経営プランの策定における職員数削減目標に対する実績と今後の目標は。

総務課長 第3次白石町定員適正化計画の中で令和4年4月1日現在の終身雇用数を255人としており、目標どおり達成している。
議員 業務量が増加している中で職員数を減らしていくのはどうなのか。

総務課長 社会情勢の急激な変化に伴い、町民の行政へのニーズは多様化、高度化し、効率的できめ細やかな行政サービスが求められている。町民サービスが後退しないよう事務事業の見直しや合理化を推進したい。今後の職員数の目標については、来年度に策定する第4次白石町定員適正化計画の中で定めていきたい。



岸川 信義 議員

問 今年の大雨での内水対策プロジェクトチームを中心とした活動と効果は

答 水路の事前排水を促すよう行政放送を行い、ゲート操作員の協力により対応できた

議員 今年7月・8月・9月の大雨での事前排水を促す活動はどのようなものであったか。

建設課長 気象庁の早期気象情報を基として協議し、水路の事前排水を決定した。

また、行政放送後は、区長や水利委員の協力により実施できた。

結果として水路のカマチ高から50センチ以上を落水し、約680万トンの貯留ポケットができた。

議員 大雨の状況はどうであったのか。

建設課長 町内6箇所を観測地では、深浦ダム観測地319ミリが最高値であった。杵島山観測地176ミリと比較して143ミリの降雨差があり、町南部の有明地区に多く降っている。

※8月16日～18日の合計雨量

観測地	合計雨量
白石小	251ミリ
大戸	231ミリ
杵島山	176ミリ
河口堰	252ミリ
竜王	281ミリ
深浦ダム	319ミリ
平均	251ミリ



議員 大雨での家屋等の被害や道路被害の状況はどうであったか。

建設課長 7月・8月・9月の大雨での家屋等の被害はあつていない。しかし、8月17日には有明地域の深浦セブンイレブン前国道207号、町道高町百貫線、廻里津住宅地内道路、町道廻里津大和線、白石地域は稲富病院付近町道などの一部で道路冠水があり、半日程度通行止めを行った。

議員 今年の大雨での事前排水の効果はどうであったか。

建設課長 今年的事前排水の効果として干潮から干潮の間の



●事前排水により落水された地沈水路

12時間の雨量が90ミリまでは、家屋の浸水や道路冠水を防げることが分かった。

今後も事前排水を強化することで12時間雨量100ミリまで持ちこたえる貯留ポケットをつくりたい。

副町長(内水対策統括監) 役場が事前排水依頼の放送を行ったときは、水路底が見えるくらいの事前排水をお願いする。



友田 香将雄 議員

問 将来を見据えた公共インフラの整備を

答 公共交通機関に結ばれた多極型ネットワークのようなコンパクトシティを目指す

議員 公共インフラの一つである「いこカー」の利用状況があまり思わしくない。事業を維持するためには利用率を高める必要があるが対策は、

やすいダイヤや経路あるいは運行サービスを検討していく。また、それ以前にまだ制度自体を知らない方もいるので情報発信を充実していく。

議員 将来を見据えたまちづくりには公共インフラの充実が必要。小中学校の再編が進むにあたって、スクールバスではなく、公共インフラを活用できるような検討が必要では。

総合戦略課長 本町は各拠点を鉄道バス等の公共交通機関に結ばれた多極型ネットワークのようなコンパクトシティを目指している。街中と周辺部を持続可能な方法でつなぐ一体化したまちづくりをしていく必要があるが、その部分において民間の交通インフラの活用を視野に入れて

いる。

議員 自動運転の導入についての考えは、

総合戦略課長 自走

行バスの導入は安全性等十分勘案しながらタイミングを含めて模索していく。

議員 都市計画の策

問 学童保育の民間委託の検討は

答 近隣市町の情報を収集し検討する

議員 庁舎の窓口業務の民間委託が全国的に進んでいる。本町も導入検討されるのか。

住民課長 民間委託はメリットもあるが、現状の業務手順ではお客様をお待たせすることになる。今後自治体DXが進み業務手順の見直しが進めば将来的に窓口業務の民間委託を検討したい。

議員 公共施設の民間委託についての考

定についての検討状況は。

総合戦略課長 現状は北明地区を除いた旧白石町の区域のみ

が計画区域に指定。適正な都市計画区域の見直しを行うよう、県と協議している。

え方は。

生涯学習課長 現状は窓口業務を正規職員や会計年度任用職員で対応している。

調査検討を行っていく。

議員 学童保育の民間委託の検討できないか。

保健福祉課長 学童は今後の小学校統合再編の状況を見据えながら運営の見直し

を

をする。民間委託をしている近隣市町の情報を収集しながら検討していく。



●役場住民課窓口



吉岡 正博 議員



問 給食費、値上げか
答 来年度以降、給食運営委員会で検討する

議員 学校給食は、物価高騰・調理員不足とコロナ感染症により、現状維持・継続が厳しい。
 ※給食費は、本年度は値上げをしなかった。来年度は、値上

げせざる得ないと考
 えるが。そこで、値
 上げ額を少なくする
 努力と、負担が難し
 い世帯へ援助制度の
 周知を十分やること
 を提言する。

学校教育課長 今後
 も物価の値下がり
 は考えにくい。来年度
 以降の給食費は、学
 校給食運営委員会で
 検討する。

※給食費は、食材費の
 み。施設設備費・人
 件費は含まれない。

問 納入組合も町一つが良いのでは

答 見直しも必要、事業者へ説明する

議員 建設中の給食
 センターは、町内全
 校を調理とのこと。
 ならば食材などの納
 入組合も、従来の三
 地域ごとでなく、町
 一つの方が良いので
 は。準備期間が必要
 なので、急ぎ依頼す
 ることを提言する。



●新給食センター建設予定地

学校教育課長 食材
 の安定的供給に、納
 入組合の見直しも必
 要と思う。事業者へ
 説明を行ない、令和
 6年度の移行がス
 ムーズにできるよう
 考える。

問 調理員不足、弁当持参にならない体制は

答 民間委託、それまで調理員確保に努めたい

議員 調理員人数の
 確保は以前から厳し
 い。2校の調理を民
 間委託し何とか給食
 を維持した。再び調
 理員が不足した経緯
 は。

学校教育課長 調理
 員の待遇及び労働環
 境、給与面も改善に
 努めた。一時応募が
 増えたが、現在は欠
 員状況。

議員 そこに感染症
 で調理員の自宅待機
 が生じたときの危機
 管理は。今後、必要
 な体制は。

学校教育課長 感染
 者等が数名でた場合
 は、給食の提供が厳
 しい。

民間委託の方針と
 なった。
議員 調理員に民間
 委託の説明をしてあ
 るが、雇用不安が多
 数聞こえる。これ
 は、民間委託までに
 調理員が辞めるので
 は。調理員からの意
 見・要望を尊重し、
 委託後も雇用の保障
 が必要。そうしない
 と、調理できず弁当
 持参になる可能性を
 心配する。

新給食センターは

学校教育課長 委託
 先選定で調理員や業
 務員の継続雇用を十
 分検討し、調理員の
 確保に努めたい。

SAGAサンライズパークの視察レポート

7月21日、2024国民スポーツ大会のメイン会場となるSAGAサンライズパークの整備状況を視察した。スポーツ・健康+エンターテインメントをコンセプトとして設計がなされ、観る・楽しむことやアスリートを育てる環境が充実した施設であることが説明された。また、九州最大級のアリーナが来年春にオープンし、プロスポーツやコンサート、学会、展示会が開催できることから、問い合わせも殺到しているとの報告もあった。本町も、国スポ、全障スポーツ大会競技会場となっており、この大会をきっかけとして、「スポーツ・健康増進のまち宣言」の目標が達成できるよう、議員一人ひとりが啓発に努めていく必要があることを認識した。



●担当者より説明を受ける



●全天候型ウォーミングアップ走路

最近の主な議会活動(7月~9月)

日	曜	
7月	6 水	白石・北明・福富地区共乾(メイン施設)起工式
		白石・北有明・福富地区共乾(福富サブ施設)起工式
		杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時議会
	8 金	議会運営委員会
	12 火	佐賀県町村議長会会計監査
	13 水	臨時議会
	21 木	総務・文教厚生・産業建設常任委員会所管事務調査 白石町行政調査委員会
	22 金	佐賀県西部広域環境組合7月臨時議会
	27 水	夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会
	28 木	一期目議員研修会
29 金	国道207号改良促進期成同盟会総会	

日	曜	
8月	2 火	佐賀県農政協議会白石地区要望書提出対応
	3 水	知事・市町議会議長懇話会
	4 木	七夕こしひかり出荷式
	10 水	議員例会・説明会
	18 木	杵藤地区広域市町村圏8月議会定例会事前勉強会

日	曜	
8月	23 火	馬田地区要望書提出対応
	25 木	杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
	26 金	議会運営委員会
		国民健康保険事業の運営に関する協議会
	29 月	杵島地区衛生処理場組合議会8月定例会
	30 火	佐賀県町村議会議長会議 佐賀県町村議会議員研修会

日	曜	
9月	7 水	9月定例会(開会)、議案審議
	9 金	議案審議
	13 火	一般質問(~15日)
	15 木	閉会
	16 金	観光推進協議会
	17 土	西九州新幹線試乗車会
	20 火	国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会 出場選手激励会
	23 金	西九州新幹線しゅん功・開業に係る祝賀イベント
27 火	白石町環境審議会	

佐賀県町村議会議員研修会

8月30日、佐賀市内で佐賀県町村議会議員研修会が開催された。時代考証の第一人者である静岡大学名誉教授の小和田哲男氏から、天下人に学ぶタイプ別組織運営と題して講演があった。徳川家康などを参考に、情報収集の大事さや人や組織を動かすための人心掌握術は、現代人を取り巻く環境にも大いに役立つものと認識した。



西九州新幹線開業

9月23日、西九州新幹線が開業した。武雄温泉駅から長崎県駅まで最短で23分間の乗車時間であり、とても長崎が近くに感じられることとなった。本町においても、交通インフラは、まちづくりの重要な要素である。本町のJR駅を通勤や通学で多くの方が利用されているので、普通列車の便数維持と利便性の高いダイヤとなるよう、将来にわたり関係機関へ働きかけをしていく必要性を認識している。



●西九州新幹線の外装と内装

追跡！ 公共施設バリアフリーの「今」

今まで何回も公共施設のバリアフリー化について一般質問で議論してきました。

比較的新しい建物はトイレや通路などユニバーサル・デザイン（UD）が採用されていますが、20年以上前に建てられた公共施設は、UD考え方が浸透しておらず、使う際には不便な事があります。

要望に沿った改修が出来た施設もありましたが、構造上の問題から改修が出来ない施設もあります。しかし、施設担当の職員で工夫をしながら対応していることが今回の調査で分かってきました。

2024国スポ・全障スポが本町でも開催されます。また、誰もが高齢者になります。多くの障がいを持つ方々を迎えるこれを機会に、いっそうの施設のバリアフリー化に努めていきたいものです。

(1) 白石総合センター（1988年建築）

ホール横のトイレが洋式に改修されました。また、自動で水が出て、手洗いの水もセンサーにより自動で出ます。



●以前の和式トイレ



●全て洋式トイレに



●車いす用トイレも自動化

(2) 有明スカイパークふれあい郷（1994年建築）

・地盤沈下のために沈下した地面までスロープを継ぎ足しました。



【補足】

ふれあい郷は
 有明館・爽明館・遊喜館・芝公園・多目的広場があり、指定管理者として公益財団法人白石町文化振興財団が管理運営しています。年間3万人以上の人が利用しています

・爽明館では障がいを持つ方のための更衣室を用意。

更衣に保護者等の介助が必要な方のために、採暖室であった部屋を更衣室にしました。



●プール横の採暖室



●中の様子

(3) 有明公民館（1976年建築）

60年経過している建物です。バリアフリーにはなっていませんが、災害時の避難所になる事から職員の工夫で障がいを持つ方の利便性を図っていました。



●階段の横に造られたスロープ



●ホールへの段差をなくすために必要に応じて仮設するスロープ

トイレは和式から洋式に改修していますがスペースが狭いためトイレの数は減っています。入り口が狭いためドアを開放して、目隠しの暖簾を付けています。

(4) 福富ゆうあい館（2004年建築）

バリアフリーを考慮して設計されている施設です。全館フラットな床（スロープあり）で廊下には手摺があります。しかし外側は地盤沈下のために段差が生じていました。町内の施設にも地盤沈下は見られました。



●玄関入り口から受付窓口まで点字ブロック



●車いすで離合ができる図書館通路



●外は地盤沈下で段差が

(5) マイランド公園ファームランドが誕生します

本年度中に古くなった遊具の代わりに、インクルーシブ（だれでも使える）遊具を設置し、みんなが楽しめるように整備します。また、多目的トイレを導入する予定です。

完成予想イラストです

車いすで滑り台

ツリー型ブランコ



町の特産品を取り入れた子どもから大人まで楽しめる遊び場！



要望書を受け取りました

●燃料・肥料・飼料価格高騰についての要望

提出者 佐賀県農政協議会白石地区
支部長 江島保昌

●馬田地区・内水氾濫時の車両等の避難場所設置の要望

提出者 馬田区区长 内野正則

20市町議会議長と知事の懇談会

8月3日、県内市町議会議長と山口祥義知事ら県幹部による懇談会が佐賀市内で開催された。

山口知事からは、チーム佐賀でやっていくのが佐賀の良さであり、県の事業にも市町議会の協力が必要であると呼びかけられた。

片刈栄二郎議長から、流域治水対策事業について、特に2級河川である塩田川流域の排水対策への支援を県へ提案がなされた。

担当部長からは、白石町が進める排水ポンプの実現や内水対策について、しっかりと支援していくと約束された。



●山口知事からの事業説明

編集後記

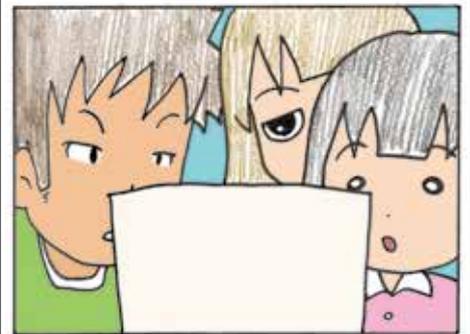


国内に於けるコロナ感染症発症から2年半が過ぎまだまだ収束の気配すら見えません。コロナ禍に於いて、商工業者の方々への影響もさることながら、私達の生活習慣に於いてもこれ程の影響があるとは思いませんでした。あとは各自が充分注意し、重症化しないよう感染対策を行いましょう。また毎年恒例となったかのような真夏の豪雨は、何とか難を逃れこのまま秋の収穫まで安泰である事を祈るばかりです。町内に於いて、各種総会、各種の集会等々の開催が難しい状況です。町広報の一つとして『議会だより』をご愛読ください。編集員一同でしっかり編集していきます。(こうすけ)

議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachieemon

第34話「議事日程」



※議事日程とは
議長が定めるその日の本会議の議事の順序を記載したものを。



白石町議会だより/第70号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会
責任者/白石町議会議長片刈栄二郎

広報委員 委員長 定松弘介
副委員長 友田香将雄
委員 中村秀子 重富邦夫 岸川信義 吉岡正博